

## <主な活動歴>

- 1997年 白井剛らと Study of Live works 発条ト(ばねと)結成  
「伊藤キム+輝く未来」カンパニー所属
- 2003年 ソロデビュー作品「デビュタント」発表、7カ国以上で上演
- 2004年 ソロ2作目「コシツ」発表、5カ国以上で上演
- 2005年 ソロ3作目「東京コシツ」発表、5カ国以上で上演
- 2007年 (一財)地域創造 公共ホール現代ダンス活性化事業登録アーティスト
- 2008年 「うず巻」を発表(青山円形劇場)
- 2011年 「東京コシツ」が招聘され英語ver.「Tokyo Flat」を上演(NY Japan Society)
- 2012年 yanokami(矢野顕子×レイ・ハラカミ)ライブにダンスでゲスト出演(TOKYO M.A.P.S六本木ヒルズアリーナ、2013年恵比寿リキッドルーム)
- 2013年 森山未来、満島ひかり主演 インバル・ピント&アブシャロム・ポラック演出振付ミュージカル「100万回生きたねこ」出演(東京芸術劇場ほか)
- 2013年 黒沢美香振付「駈ける女」出演(スパイラルガーデン)
- 2013年 ダンス 森下真樹×現代美術 東芋「錆からでた実」発表(青山円形劇場)
- 2014年 「パピコント」発表(北九州芸術劇場、横浜赤レンガ倉庫)
- 2015年 笠井勲新作「今夜は荒れ模様」出演(世田谷パブリックシアター、京都芸術劇場)
- 2015年~2017年 (公財)セゾン文化財団シニアフェロー
- 2015年 「十一ぴきのネコ」作:井上ひさし 演出:長塚圭史 にて振付を担当
- 2016年 東芋×森下真樹 「映像芝居『錆からでた実』」発表(東京芸術劇場)
- 2016年 カンパニー「森下スタンド」発足
- 2016年 満島ひかり×玉井夕海×森下真樹のコラボ上演(京都 清水寺)
- 2016年 「どこをどうぶつる」発表 ダンス:大植真太郎 森下真樹 音楽:田中馨(北九州芸術劇場)
- 2016年 市民参加プロジェクト「オーケストラで踊ろう!『運命』」にて振付演出(可児市文化創造センター)
- 2017年 「東京コシツ」が招聘されフランス語ver.「TOKYO/ESPACE PERSONEL」を上演(パリ日本文化会館)
- 2017年~19年 60歳以上の700名を越える「さいたまゴールド・アーツ・クラブ」にてノゾエ征爾演出『病は気から』  
『吾輩は猫である』では振付を担当
- 2017年 ソロ「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」発表、以降ライフワークとする
- 2018年 ダンス×ピアノ「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」(スパイラルホール、2020年城崎国際アートセンター)
- 2018年 吉澤嘉代子「ミュージック」MUSIC VIDEOにて振付を担当
- 2019年 森下スタンドによる群舞「ベートーヴェン交響曲第9番を踊る」発表  
(ソロ「第5番『運命』」と群舞「第9」を対比させながらともに展開させライフワークとする)
- 2019年 奥能登国際芸術祭+にて「石川直樹&森下真樹ディナーショウ!!」発表(さいはてのキャバレー)
- 2020年 東芋×森下真樹 「映像芝居『錆からでた実』」「Fruits borne out of rust」が全米4都市で上演(Red Cat、Wesleyan University、The Kennedy Center、NY Japan Society)

- 2020年 岐阜県美術館にて「ベートーヴェン交響曲第5番全楽章を踊る」の映像作品を制作・発表
- 2020年 伊藤キム×森下真樹「マキム！」発表(東京芸術劇場)
- 2021年 いわてフィル×日本フィルハーモニー交響楽団「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」夢のフルオーケストラ共演(岩手県民会館)
- 2023年 「道後アート2023」オープニングパフォーマンスを演出
- 2023年 (公財)セゾン文化財団のサバティカル助成にて2ヶ月半、11カ国の旅をする  
(「ベートーヴェンのルーツを辿る旅と、エベレスト街道を歩く旅、2つの縦走～」をテーマに)
- 2024年 写真家石川直樹との3年間プロジェクトの集大成「みちのちの10 SCENES」発表(茅野市民館)
- 2024年 「踊れ！第九」が神奈川フィルハーモニー管弦楽団のフルオーケストラ共演が実現(神奈川県民ホール)

### <受賞歴>

- 2004年 「デビュト」が横浜ダンスコレクションソロ・デュオ< Compétition >にて(公財)横浜市芸術文化振興財団賞を受賞
- 2005年 「東京コシツ」が東京コンペ#2にて優秀賞を受賞
- 2014年 第8回日本ダンスフォーラム賞を受賞